

教育だより

とっとり 夢ひろば

TOTTORI YUMEHIROBA

VOL.
107
2024. SUMMER
鳥取県教育委員会



智頭農林高 ふるさと創造科
ロールケーキの製造



鳥取西高 国際交流



皆生養護学校と境港総合技術高 交流事業(ボッチャ)



岩美高 探究学習



日野高 射撃



倉吉農業高 生物科 スイカの収穫



倉吉総合産業高 機械科
旋盤実習



鳥取東高 サイエンスゼミ

<トピック>

- 「保存版」夏休みイベント2024
- ふるさとキャリア教育
- 県立高校の魅力!
- 教育振興基本計画改定

「鳥取県教育振興基本計画」を改定しました



鳥取県教育委員会では、「鳥取県教育振興基本計画」を策定し、本県教育が中長期的に目指すべき姿と取組の方向性等を明らかにし、総合的かつ計画的に教育施策に取り組んでいます。

このたび、令和6年度から令和10年度までの第四期計画を定め、市町村教育委員会や各学校と連携、協力しながら、将来の鳥取県や日本を支える子どもたちを育てていきます。

改定の主なポイント

- ▶ 今回の改定では、第三期計画を基本的に継承しつつ、基本理念に国の教育振興基本計画の基本コンセプトの一つである「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」の概念である「幸せ」を盛り込みました。
- ▶ 本県教育施策の基軸である「ふるさとキャリア教育」の視点を明確に打ち出し、子どもたちが『「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像』を実現するための各種施策を盛り込みました。
- ▶ 特別な支援が必要な子どもやいじめ・不登校、困難な家庭環境にある子どもなど多様な教育ニーズへの対応と学びの確保、ICT活用教育など教育DXの推進、県立夜間中学校における学びの展開、公立中学校の休日部活動の地域移行への対応を、計画の柱である「目標」、「施策」に新たに位置付けました。

目標 「多様な教育ニーズに応じた誰一人取り残さない学びの創造」

施策 「教育DXの推進」「県立夜間中学における自分らしい学びの展開」

「子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会確保に係る環境の整備・充実」

- ▶ 確かな学力の育成、グローバル社会に対応した英語や国際バカロレア教育や主権者教育の推進、教職員の確保や働き方改革などの教育課題を「重点取組」に位置付け、取り組むこととしました。

教育振興基本計画の概要

基本理念 **自立して心豊かに 幸せな未来を創造する ふるさととつとりの人づくり**

4つの力と姿勢

- ① 自立して生きる力
- ② 豊かな心と健やかな体
- ③ 社会の中で支え合う力
- ④ ふるさと鳥取県に誇りと愛着を持ち、未来を創造する力

6つの目標と25の施策

目標01 社会全体で学び続ける環境づくり

- ① 社会全体で取り組む教育の推進
- ② 家庭教育の充実
- ③ 生涯学習の環境整備と活動支援



目標02 主体的に学ぶ力を育む学校教育の推進

- ④ 豊かな人間性、社会性を育む教育の推進
- ⑤ ふるさとキャリア教育の充実
- ⑥ 幼児教育の推進
- ⑦ 確かな学力の育成
- ⑧ 教育DXの推進
- ⑨ 社会の変革期に対応できる教育の推進



目標03 多様な教育ニーズに応じた誰一人取り残さない学びの創造

- ⑩ 特別支援教育の充実
- ⑪ いじめ・不登校等に対する対応強化
- ⑫ 多様な教育ニーズに応える学びのセーフティネットの構築
- ⑬ 県立夜間中学における自分らしい学びの展開

目標04 学びを支える教育環境の充実

- ⑭ 魅力ある学校づくり、特色ある学校運営の推進
- ⑮ 次代の学校教育を担う使命感・実践力を備えた教職員の確保・育成
- ⑯ 安全、安心で質の高い教育環境の整備
- ⑰ 私立学校への支援の充実

目標05 生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進

- ⑱ 健やかな心と体づくりの推進
- ⑲ ライフステージに応じた運動、スポーツ活動の充実
- ⑳ トップアスリートの育成(競技力の向上)
- ㉑ 子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会確保に係る環境の整備・充実

目標06 文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造

- ㉒ 文化芸術活動の一層の振興
- ㉓ 美術館整備による文化芸術の創造・発展
- ㉔ 文化芸術の発展を担う人材の育成
- ㉕ 文化財の保存、活用、伝承



鳥取県における「ふるさとキャリア教育」のめざす人間像

- 1. ふるさと鳥取に根差して、グローバルな視点で考え行動することができる人材
- 2. 鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させようとする意欲や態度を身につけた人材
- 3. 社会の変化に対応しながら新たな価値を創造することができる人材
- 4. 自立し、自分らしい生き方を実現するとともに、将来にわたりふるさと鳥取を思い、様々な場面でふるさと鳥取を支えていくことができる人材

問合せ先 教育総務課 電話：0857(26)7914 FAX：0857(26)8185

「ふるさととキャリア教育」の推進・充実に向けた鳥取県の取組を紹介します

鳥取県に誇りと愛着を持ち、ふるさと鳥取をさらに継承・発展させていこうという意欲と態度を持った子どもを育てます。



ふるさと鳥取の「人」・「物」・「仕事」を系統的につなぎ、「ふるさと鳥取で」学ぶ



▶ ふるさとキャリア教育 CMコンテスト

小学生の部(4年生～6年生)、中学生の部、高校生の部の3つの部門を設け、自分たちの住んでいるまちを紹介する30秒のCM動画を学校で作成し応募していただけます。本年度の募集期間は、10月1日(火)～11月29日(金)までです!



CMコンテスト 智頭小学校

令和5年度の入賞動画をぜひご覧ください!



▶ 親子でおしごと体験ツアー

県内の企業を小学校4～6年生の親子で訪問し、仕事の見学や体験を行うとともに、働きがいやふるさと鳥取で働く思いについてお話を聞きます。本年度は7月29日(月)～31日(水)に東部・西部・中部で実施します。



芝の圃場見学



集卵体験



働く思いを聞く

▶ ふるさとキャリア教育フェスティバル

「親子でおしごと体験ツアー」に参加した児童による学びの成果発表や学びの成果物展示、協力企業によるパネルディスカッションや企業紹介とおしごと体験コーナーも開設します。また、「ふるさとキャリア教育 CMコンテスト」の表彰式や応募全作品の放映等を行います。本年度は、令和7年2月1日(土)にエスパック未来中心で開催します。



おしごと体験ツアー学びの成果発表会



ミニおしごと体験コーナー



CMコンテスト表彰式

問合せ先 小中学校課 電話：0857(26)7935 FAX：0857(26)8170

「若者」と連携した「ふるさとキャリア教育」の推進

少子化の進行や、県外の大学等に進学してそのまま県外で就職するなど、若者の減少が止まらず、県内産業や地域を担う人材の不足による活力低下などが懸念されています。

県では、若者と産学官が連携して「とっとり若者Uターン・定住戦略本部」を新たに設置し、若者の意見・提案を入れたUターン・定住の取組を行うこととなりました。

今後、地域や地元企業の方、大学生等との交流や一緒に活動する機会を通して「ふるさとキャリア教育」をさらに進め、将来、県内で活躍したり、県外にいても「ふるさと鳥取」を思い、様々な場面で鳥取県を支える子どもを増やしたいと考えています。

問合せ先 教育総務課 電話：0857(26)7914 FAX：0857(26)8185

鳥取県学校教育DX推進計画を策定しました

計画期間：令和6年度から令和9年度までの4年間

目指す人材像 情報を主体的に活用し、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を持った人材の育成

情報を活用して課題を解決 未来を拓く

急速に変化する社会の中で、「問題を見つけ出し、いろいろな人たちと共に、様々な考えに触れながら、多くの人々が納得するような解決策を生み出すような力」が求められています。みなさんが日常的に1人1台端末を使い、情報を活用しながら自分のこととして学んだり、自分に合った方法で学べたりできるように授業の方法や学び方を変えていきます。

鳥取県学校教育DX推進計画の詳細はこちら（鳥取県教育センターホームページ内）→



方針1

学びを変える ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成

これまで

- 同じ内容を同じ方法で一斉に学ぶ
- 教師の指示でICTを活用



Level up

これから 自ら学び取る授業

- 自らの目標の達成に向けて1人1台端末を活用
- 社会とつながる課題を探究
- ICTにより自由な発想で社会貢献



- 多様な人との対話



- 考えを共有し新たな考えを創る
- ICTのよりよい使い手に

多様な方法で学ぶ

- 自分のペースで自分に合った方法で学ぶ



- 学校と家庭との連続した学び
- 時間・場所にとらわれず学びの機会を確保

児童生徒の資質・能力を育成するため
人材・環境・体制の充実を図る

方針2

みんなで支える

教職員のICT活用指導力の向上と人材確保

- 子どもたちが主体的に取り組む探究的な学びを実現するために、教員研修の充実や専門的知識を有する外部人材の活用等により、学びの質の向上を図る。



鳥取県ジュニアICTリーダー研修

方針3

環境を整える

ICTを活用するための環境の整備

- 次世代ネットワークによる安定した高速大容量通信環境の確実な整備及び運用を図るとともに学びを支えるデジタルコンテンツの充実や様々な教育データを可視化することにより、児童生徒への指導改善や学習支援に役立てる。

方針4

体制をつくる・働き方を変える

ICT推進体制の整備・校務の改善

- 市町村教育委員会との運営協議会等を定期的に開催し、県と市町村が同じ方向で取組を推進していくとともに、クラウドを活用した校務のデジタル化、オンライン会議の開催等により、業務の改善を図る。

～とっとり学ぶ・調べる・知る～

「とっとり教育ポータルサイト」を開設しました!

アクセス
してみてください!!



学校におけるふるさとキャリア教育充実に役立てていただくため、鳥取県のふるさと企業、SDGsパートナー企業や鳥取県の観光・文化財情報等の情報を発信するとともに、県内公立学校、図書館、博物館等のホームページ・SNSの情報や学びに係るイベント情報を一括して発信するウェブサイトです。

とっとり教育ポータルサイト

検索

<https://tottori-portal.torikyo.ed.jp/>



■ 学校ホームページ・SNS情報

■ 学びのイベント情報

■ クイズにチャレンジ

■ ととりの企業・仕事

■ ととりの観光・文化

■ ととりのSDGs

■ 今日は何の日 など

生徒の夢や目標の実現に向けた可能性を広げるために県立高校の再編を進めます

～令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本方針(令和8年度～令和17年度)～を策定しました

県立高校がめざす新しい姿

方針1

生徒一人一人の資質・能力や可能性を最大限伸ばす学びを推進します。

- 課題を発見し、コミュニケーションをとって協力しながら創造的に解決できる生徒を育てます。
- 多様性、協働性、寛容性を身に付け、異なる考えや価値観を尊重し共有できる生徒を育てます。等

方針2

将来の地域を支える人材を育てるふるさとキャリア教育を推進します。

- ふるさと鳥取への思いを持ち、将来どこに住んでいても鳥取県を誇りに思いながら、自分の暮らす地域で活躍できる生徒を育てます。
- 魅力と活力あふれる「元気なふるさと鳥取」を創造し、支えていくことができる生徒を育てます。等

方針3

様々な現代的諸課題に対応し、鳥取県や日本、世界に貢献できる力を育成する学びを推進します。

- 持続可能な社会の創り手となるため、新たな価値観を創造することができる生徒を育てます。
- 鳥取県の豊かな資源や環境を活かし、地域や世界の持続的発展に寄与できる生徒を育てます。等

新しい姿の高校づくりにあたって(規模、配置等)

- 標準的な学校規模は3学級以上とします。
- 東中西部地区にそれぞれ商業、工業・情報、農業・水産、家庭・福祉の分野を学べる高校を設置します。
- 本県ならではの資源を活かした特徴的な学科(コース)は設置を継続します。
- 県立高校全てを小規模化した場合、県立高校全体の活力低下が危惧されるため、一定規模の高校を配置することを検討します。
- 特に専門学科と中山間地域の高校においては、環境や学習内容を踏まえた柔軟な定員設定を検討します。
- 県立高校における少人数学級の実施について、その効果や財政負担を十分に検証し、慎重に検討を進めます。
- 今後の中学校卒業生数の減少を踏まえ、県外生徒募集について全県立高校での導入を検討します。併せて、地域と連携した住環境整備や各地区における寮の整備などについて、今後も検討を進めます。
- 専門学科の高校における専攻科の設置について調査・研究を行います。



前期(令和8年度～令和12年度)

各高校の特色化をより推進し、主に中山間地域の高校や地域における人材育成を図るための専門高校についての整理、再編などを検討し、より専門性を高度化します。※対象学校名は令和6年度中に、教育内容等の詳細は令和7年度中に公表予定です。

- 1 中学校卒業生数の減少を踏まえ、前期中に240人程度の募集定員減を目的に規模の適正化を図ることとし、原則、学校数は維持したまま、学科の集約や学級減による整理、再編を進めます。
- 2 現基本方針における「小規模校の在り方に関する基準」を引き続き適用します。
- 3 特に、中山間地域の高校は、地元自治体等地域との関わりを考慮したうえで、近隣に他の高校がない等、地域における高校の役割が大きい場合には、1学年あたり2学級以下の学校規模であっても小規模校として設置するとともに、次の取組を実施します。
 - ・地域外から生徒を呼び込むことのできる特色あるカリキュラム編成を検討します。
 - ・地元自治体等と協力した学生寮等住環境の整備を図ります。



後期(令和13年度～令和17年度)

前期の対応以降の社会情勢等の変化を踏まえて、東中西部地区の高校の整理、再編等により特色ある新しい姿の高校の設置を検討します。※対象学校名を令和10年度中に、教育内容等の詳細は令和11年度中に公表予定です。

- 1 中学校卒業生数の減少を踏まえ、後期中に480人程度の募集定員減を目的に規模の適正化を図ることとし、高校の再編・統合を進めます。規模の縮小を図る際には、前期期間中に、2年続けて1学級分の募集定員数を超える定員割れが生じた高校、学科を中心にその在り方を見直し、社会環境の変化等を踏まえた上で計画を策定します。
- 2 普通科を加えた総合選択制高校の設置や、普通科において農業や商業などの専門科目を履修できるカリキュラム編成を検討します。

これらの方向性は、今後の中学校卒業生数の推移が現時点の推計どおりに進行するとともに、社会情勢や国・県の施策等に大きな変更がない場合のものであり、想定と異なった状況が発生した場合には、柔軟に方針を変更することも想定しています。



県立高校をのぞいてみよう！

岩美高校



プロに学ぶ～地元講師から魚のさばき方を学ぶ実習



実習で地域の方をお招きし、手話で交流

岩美高生にしか見えない景色がある！

「なりたい自分」を探し、自分の可能性を伸ばすため、1年次は共通科目を学んで基礎を固め、2年次から類型に分かれて学ぶ普通科高校です。
ディベート等教科横断的な学びや地域貢献活動にも積極的に取り組みます。

普通科探究類型

「なぜ?」という素朴な疑問を大切に、学ぶ楽しさや醍醐味を追究する類型です。2系列(理系・文系)に分かれ社会を生き抜く確かな学力と探究心を育てます。

普通科共創類型

グローバル化する地域社会を共に創るマインドと実践力を育成する類型です。3系列(創造・フード・福祉)に分かれ地域をフィールドに授業実践します。食・健康・福祉・ICT分野を学習し、地域貢献型教育を実践します。

こんな取組もしています！

ジャマイカ出身のテノール歌手、スティーブ・ヒギンズ氏(Mr. Steve Higgins)が岩美高校を訪れ、生徒との音楽交流会が開催されました。日本・ジャマイカの国交樹立60周年記念事業及び、2025年大阪・関西万博に向けた「万博国際交流プログラム」の一環です。吹奏楽部の演奏に合わせてヒギンズさんが「One Love」を歌い、最後は全校生徒と1つの輪になって歌うなど大盛況で終わりました。



進路の例

4年制大学：鳥取大学、公立鳥取環境大学、日本大学、川崎医療福祉大学 他
短期大学：鳥取短期大学 他
専修学校：鳥取県立鳥取看護専門学校、鳥取社会福祉専門学校 他
就職：日本郵便(株)、(福)鳥取県厚生事業団、(株)サンマート、グッドビル(株) 他

倉吉東高校



充実した教育環境。IBガイダンスの様子



深まるディスカッション。探究型授業の様子

学びを深め、未来をリードする人材の育成を目指します。

一人一人の自己実現に向けて、国際バカロレア(IB)教育の理念を生かした教育活動を展開し、自らの学びを深めるとともに、論理的思考力やコミュニケーション能力などを高めています。充実した学校行事や生徒会活動が成長を支えます。

1年次は共通の学習を行い、2年次から将来の進路に対応した類型に分かれます。

文科系

文学部・法学部・経済学部等の大学進学を目指す人向けの類型で、国語、英語、地歴・公民の授業が多いことが特徴です。

理科系

理学部・工学部・農学部・医学部等の大学進学を目指す人向けの類型で、数学、理科の授業が多いことが特徴です。

IB系

国際水準の教育プログラムを2年生から最大20名の生徒が学ぶことができます。本校の卒業に加え、このプログラムでディプロマ(大学入学資格)を取得することにより、海外大学や国内大学への進学に利用することができます。IB系の中で、文科系・理科系に分かれます。

在校生の声 | 生徒会長 橋本 瑛大さん

倉吉東高校は、探究的な学びに重きを置いた国際バカロレア教育を始め、充実した学習環境が魅力の一つです。生徒の主体的な学びを重んじていますが、学園祭をはじめとして、強歩大会、スポーツ大会などの楽しい行事がたくさんあります。特に学園祭から得られる気付きや学び、感動は一生の思い出となります。東高での勉強や体験を通じて、大きな成長と、仲間とともに充実した学校生活を送っていることを実感しています。



県内唯一、「4日間」の学園祭 盛んな部活動。文武両道に励みます

進路の例

北海道大、筑波大、東京大、横浜国立大、金沢大、静岡大、名古屋大、大阪大、神戸大、鳥取大、島根大、岡山大、広島大、山口大、愛媛大、高知大、九州大、兵庫県立大、公立鳥取環境大、慶應義塾大、早稲田大、明治大、立教大、法政大、中央大、同志社大、立命館大、関西大、関西学院大

境港総合技術高校



総合実習の授業では黒マグロの解体にもチャレンジ



県内で唯一、自動車について学べます

地域とつながり、咲かそう未来!!

各科とも地域をフィールドに学び、個々の持つ個性、適性、可能性を最大限に開花できます。

海洋科

「海・船・魚」水産・海洋のスペシャリストになろう!乗船実習、マリンスポーツ実習などにより、豊かな人格形成と船舶・漁業・潜水に関する技術を習得します。

食品・ビジネス科

水産食品を主とした専門的な知識・技術を身につけるとともに、ビジネス分野の学習を通して、経営感覚を養い、地域をフィールドに学び、地元へ貢献できる産業人の育成を目指します。

機械科

「ものづくり」の基礎・基本の学習を主とし、幅広い知識を持った人材を育成します。また、本科は「一種自動車整備士養成施設」に認可されており、3級自動車整備士の資格取得を目指します。

電気電子科

生活に欠かせない「電気をつくり、役立てる」技術と、「コンピュータを使って制御し、活用する」技術を基礎から学び、ものづくりなどを通して、社会に必要とされる人材を育成します。

福祉科

福祉に関する専門的な知識・技術を身につけながら、さまざまな実習を通して幅広く地域福祉に貢献できる人材の育成を目指します。

こんな取組もしています！

食品・ビジネス科では課題研究の授業において、株式会社メルカリと連携し、【メルカリショップSPBLプログラム～咲かそう未来プロジェクト】に取り組みました。地元境港の魅力为全国の皆様へ発信することをテーマに、米子空港内のショップBEEWINGとのコラボ商品の開発や、本校実習製品のセット販売をメルカリショップスで行い、境港市役所で出店セレモニーを開催しました。



地元事業者と連携してメルカリショップスオープン

進路の例

4年制大学：福山大学、日本工業大学、美作大学
短期大学：鳥取短期大学、大阪健康福祉短期大学
専修学校：日本海情報ビジネス専門学校、松江総合医療専門学校
就職：トヨタ自動車、共和水産、深田サルベージ建設、角屋食品、こうほうえん、真誠会

トットリ ハイスクールアドベンチャー

TOTTORI
HIGH SCHOOL
ADVENTURE

鳥取県立高校・でかける体験入学

高校生によるパフォーマンスや高校PR。
自分の高校「あるある」を発表や
来場者からの質問に高校生が答えます！

未来のイメージがつかめる2日間。
ぜひご来場ください！



鳥取県立高等学校
魅力発信統括コーディネーター
司会 TADA氏

司会はテレビラジオで活躍するTADA氏

高校受検を応援するアイテムが当たる
スタンプラリー抽選会もあるよ！

日時 2024年8月8日(木) 11:00~15:00

会場 イオンモール日吉津 チューリップコート(西館1F)

〒689-3553 鳥取県西伯郡日吉津村日吉津1160-1

イオンモール日吉津会場参加高校／鳥取県立倉吉東高等学校、鳥取県立倉吉西高等学校、鳥取県立倉吉農業高等学校、鳥取県立鳥取中央育英高等学校、鳥取県立米子東高等学校、鳥取県立米子西高等学校、鳥取県立米子高等学校、鳥取県立米子南高等学校、鳥取県立米子工業高等学校、鳥取県立境高等学校、鳥取県立境港総合技術高等学校、鳥取県立日野高等学校

日時 2024年8月9日(金) 11:00~15:00

会場 イオンモール鳥取北 セントラルコート(1F)

〒680-0904 鳥取県鳥取市晩稲348

イオンモール鳥取北会場参加高校／鳥取県立鳥取西高等学校、鳥取県立鳥取商業高等学校、鳥取県立鳥取工業高等学校、鳥取県立鳥取湖陵高等学校、鳥取県立青谷高等学校、鳥取県立岩美高等学校、鳥取県立智頭農林高等学校、鳥取県立倉吉東高等学校、鳥取県立倉吉農業高等学校、鳥取県立倉吉総合産業高等学校、鳥取県立鳥取中央育英高等学校

参加無料

主催／鳥取県教育委員会

連絡先／鳥取県教育委員会事務局 高等学校課 高校教育企画室
〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271番地
TEL:0857-26-7517 FAX:0857-26-0408



満天の星を見よう会



開催日時／8月10日(土)17時～21時

参加費用／850円程度

申込期間／7月12日(金)～
26日(金)17時まで

対象／小学生以上とその保護者・一般のグループ

定員／20組(申込多数の場合は抽選)

申込方法／大山青年の家ホームページからお申し込みください。



※写真はイメージです

問合せ先 鳥取県立大山青年の家 電話 0859(53)8030 FAX 0859(53)8265

自然体験webカレンダーの紹介

子どもたちの健やかな成長にはいろいろな体験活動が大切です。

「自然体験イベントwebカレンダー」では、県内で行われる自然体験イベント、ものづくり教室などの情報を紹介しています。

ぜひチェックしてみてください!



鳥取県社会教育課 イベント

検索

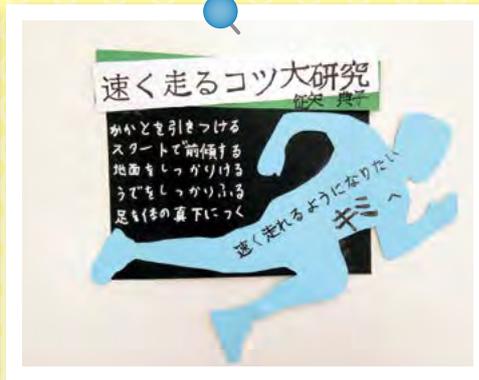
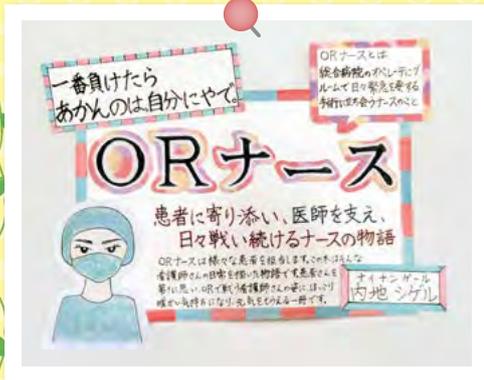
<https://www.pref.tottori.lg.jp/shizentaiken/>

問合せ先 鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会事務局(社会教育課内) 電話 0857(26)7519 FAX 0857(26)8175

中学生・高校生ポップコンテスト2024 募集

中学生、高校生の皆さん 本を読んでポップを作ってみませんか

★ポップ…イラストや短い文章で本などの商品の魅力を伝えるカード



募集期間:令和6年8月1日(木)～9月27日(金) 消印有効

主催:鳥取県教育委員会
共催:鳥取県書店商業組合、
鳥取県図書館協会

詳しくは右のQRコードから募集要項をご確認ください。ご応募お待ちしております!



優秀作品に選ばれると図書カードがもらえるよ。
さらに!作品が本屋さんや図書館で本の紹介に使われるかも♪



問合せ先 社会教育課 電話:0857(26)7943 FAX:0857(26)8175